

- 1 学校名 大村市立松原小学校
- 2 活動テーマ名 「松原の海に親しみ、海を愛する活動」
- 3 実践の概要・ねらい

松原の海を題材とした学習を通して、日常生活や身近な海との関わりの中から、自ら課題を設定し、よりよく問題を解決していく資質や能力を身に付けるとともに、主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、松原の海に親しみ、海を愛する気持ちをもたせることができるようにする。

4 実践計画

①活動計画・概要・教科等との関連（5・6年生合同実施：総合的な学習の時間 全25時間）

※は連携機関

月	活動計画	活動の概要
4月	○オリエンテーション（総合1時間） ・EM菌を利用したプール清掃に取り組もう。	○洗剤等を使用せずプール清掃を行うことを知らせ、川や海を汚さない取組に興味を持たせる。
5月	・EM菌を培養しよう。（時間外活動）	○各家庭から集めた米のとぎ汁とEM菌を混ぜて、EM液を作る。
6月	・EM菌を利用したプール清掃をしよう。 （学校行事2時間）	○プール清掃を行う。
7月	○大村湾について知っていることを出し合おう。 （総合1時間） ・松原海水浴場の清掃活動に参加しよう。 （地域主催の奉仕活動）	○大村湾について知っていることを自由に出し合わせ、身近な海についての関心を高める。 ○松原海水浴場の清掃活動を、保護者や地域の方と一緒にやる。
8月	○ヨット体験をしよう。（総合3時間） ※長崎県立長崎工業高等学校ヨット部	○ヨット体験を行い、海への関心を高める。
9月	○自分の課題について詳しく調べよう。 （総合4時間） ・自分の課題を作ろう① ・自分の課題について調べよう。③	○ヨット体験で気付いたことを基に、課題を立てさせ、グルーピングを行う。 ○インターネットや各種資料を基に自分の課題を調べさせ、各グループで質問をまとめさせる。
10月	○体験活動をしよう。（総合6時間） ・魚調理に挑戦しよう。③	○魚調理体験を行う。 ○ゲストティーチャーを招聘し、大村湾の環境や漁業などについて詳しい説明を聞いたり、松原の海や川の水質調査を行ったする。 ○松原の海で魚釣り体験を行う。 ○集めた情報を、KJ法等を用いて、情報の整理・分析を行わせる。調べたことを地域社会に発信するために、どのようにまとめたらよいかを考えさせる。
11月	※一般社団法人長崎魚市場協会 ・大村湾の水質調査をしよう。① ・魚釣りをしよう。②	
12月	○専門家から詳しく学ぼう。（総合2時間） ・大村湾の環境と漁業について学ぼう。②	
1月	※NPO法人長崎海洋環境研究会 ※長崎県長崎振興局県央水産業普及指導センター ○学習したことを発信しよう。（総合7時間） ・調べたことをまとめよう。⑥	
2月	・学習発表会をしよう。① ○松原の海について学んだことを振り返ろう。 （総合1時間）	○1年間の学習を通して学んだことを基に、これからどのように松原の海と関わりながら生きていくかを考えさせる。 ○地域の方や保護者、お世話になった方を招待して学習発表会を行う。
3月		○5年生は、次年度にさらに学習を深めていけるように意欲を継続させる。

②実践の評価について

○子どもの体験活動の様子や調査したもの、作成物等から評価する。

5 今年度の実践

①計画からの追加・変更点

- 特になし

②実践の成果

- 大村湾の環境や水産業について調べ、様々な体験活動をしたことにより、児童はこれまで気付かなかった松原の海の魅力を再認識することができた。
- 大村湾の環境への関心が高まり、川や海への排水に気を付けたり、ごみの投棄を減らしたりしなければならないという、実践的な態度につながる考えをもつことができた。
- 水産業について調べた結果、漁獲量の減少や漁業従事者が減少しているという現状を知り、その課題を解決していきたいという思いをもつことができた。

③次年度への課題

- 大村湾の環境や水産業についての課題を明らかにすることはできたが、課題改善のために何が必要か、自分たちにできる取組はないか等を模索し、実践するまでには至っていない。本年度学習したことを生かしながら、次年度以降の活動につなげていきたい。

6 主な連携機関及び内容

- 長崎県立長崎工業高等学校ヨット部【ヨット体験】
- 一般社団法人長崎魚市場協会【魚調理体験】
- NPO法人長崎海洋環境研究会【大村湾・松原の海の環境調査】
- 長崎県長崎振興局県央水産業普及指導センター【大村湾の漁業について】

5・6年生「松原の海に親しみ、海を愛する活動」

大村市立松原小学校

【実践のねらい】

松原の海を題材とした学習を通して、日常生活や身近な海との関わりの中から、自ら課題を設定し、よりよく問題を解決していく資質や能力を身に付けるとともに、主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、松原の海に親しみ、海を愛する気持ちをもたせることができるようにする。

○時数 4月～3月 総合的な学習の時間（25時間）

- 目標
- (1) 体験活動や探究的な活動を通して、児童がこれまで気付かなかった松原の海の魅力について再認識することができる。
 - (2) 松原や大村の海について、自ら課題を見つけ、主体的に解決しようとする資質・能力を育てる。
 - (3) それぞれが設定した課題を協同して解決し、まとめたことを発信することにより、豊かな表現力を育てることができる。

【主な連携機関と内容】

- ・長崎県立長崎工業高等学校ヨット部：ヨット体験
- ・一般社団法人長崎魚市場協会：魚調理講習会
- ・NPO法人長崎海洋環境研究会：環境学習
- ・長崎県長崎振興局県央水産業普及指導センター：漁業学習

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験的な活動	<p>1. 松原の海に親しみ、海を利用する</p> <p>①オリエンテーション (1) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EM菌を利用したプール清掃に取り組むことで川や海を汚さない取り組みに興味をもつ。 <p>→</p> <p>②ヨット体験しよう (3) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨット体験で実際に海や海岸で活動を行うことにより、海への関心を高める。 <p>→</p> <p>③体験活動しよう (6) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚釣り体験や魚調理体験を行うことにより、魚や漁業、環境についての関心を高める。 ・松原の海や川の水質調査を行うことにより、環境やその原因について関心をもつ。 											
探究的な活動	<p>2. 松原の海について学ぶ</p> <p>①大村湾について知っていることを出し合おう (1) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な海についての関心を高める。 <p>→</p> <p>②自分の課題について詳しく調べよう。(4) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を立てさせ、グルーピングを行う。 ・インターネットや各種資料を基に自分の課題を調べる。 <p>→</p> <p>③専門家から詳しく学ぼう (2) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーを招聘し、大村湾の環境や漁業などについて詳しい説明を聞くことにより、各グループの疑問を解決するとともに、新たな発見に気付く。 											
表現活動	<p>3. 松原の海について発信し、海を守るための関わり方について考える</p> <p>①学習したことを発信しよう (7) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報を、KJ法等を用いて、情報の整理・分析を行う。調べたことを地域社会に発信するために、どのようにまとめたらいいかを考える。 <p>→</p> <p>②学習発表会をしよう (1) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習を通して学んだことを基に、これからどのように松原の海と関わりながら生きていくかを考える。 											